



2021

特定非営利活動法人
青少年育成支援フォーラム (JIYD)

年次報告書

Japan Initiative for Youth Development
Annual Report 2021



 特定非営利活動法人
青少年育成支援フォーラム
Japan Initiative for Youth Development

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-21-1 SHIBUYA SOLASTA 3F
TEL 050-1742-4922 FAX 050-3385-9242
E-mail: info@jiyd.org URL: <https://www.jiyd.org>

発行者 馬淵 英晃
発行所 特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム
発行日 2022年6月30日



9つの価値観を育む「ライフスキル教育」を子どもたちに届けよう
 私たちは「Lions Quest ライフスキル教育プログラム」の普及活動に取り組んでいます

FOCUS 2015~ (今、注力すること)

プログラムの継続的な実施を促進するために

- ① 多様な教育現場に対応する運営方法づくり
 教育現場のニーズや社会の実情にあわせ、ワークショップやフォローアップのさまざまな開催方法を提案する
- ② 実践者や協力者のネットワーク構築
 プログラムの実践者や支援者が情報共有・意見交換する場を拡大する
- ③ 普及活動の継続・拡大に有効な情報公開や広報活動
 普及展開の例示や実践事例などの広報ツールを定期的に提供する

*1999年にライオンズクエストプログラムを日本に導入して以来、普及活動の基盤整備・全国拡大を経て、2010年以降は「深化」を大きなテーマとしてきました。2014年度までのFOCUS（注力すること）として、授業実施率の向上、評価事業、教材開発の3点を掲げてきました。評価事業では、2010年から3年間をかけ、実践校でのプログラムの効果を測るプログラム評価が終了し、教材開発では、それまでの「思春期版」に加えて2013年7月には「小学生版」、2017年7月には「幼稚園／保育所（園）版」を開発・導入しました。そして2019年7月から、2015年にアメリカで導入された新しいライオンズクエストプログラムの日本語版を開発し電子版教材として導入しました。

理事長あいさつ



新型コロナ禍のために、日本の企業の活動や社員の働き方も、家庭や学校、街の商店街の日常まで、当たり前だった姿が変わって2年半近くになります。ようやく一時より感染者数が減り始め、国内旅行が賑わいだし、外国人観光客の受け入れも始まりましたが、このままコロナ禍収束へと繋がるかどうか。みなさん祈るような気持ちでおられるのではないのでしょうか。

この間、働く人の4割が非正規雇用といった日本社会の実態や、雇い止め、一人親の子育ての厳しさ、「子どもの貧困」といった言葉がどれほど新聞やテレビを賑わせたことか。そんな中で、家で満足に食事をとれない子どもたちのための「こども食堂」の活動や、学校が終わっても家に誰もいない子どもたちのための「居場所づくり」といった活動が広がりを見せたのはうれしいことでした。市町村の機転や商店街の人々の善意、NPO 仲間のエネルギー、それに企業のサポートなど、さまざまな連携が生んだ活動です。

たまたま目にした新聞記事に、「NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすべえ（理事長湯浅誠・東大特任教授）」の調べで、コロナ前の2019年から子ども食堂が約2,300も増え、6,000カ所以上になったと出ていました。1990年代にホームレス支援を始め、「同センター」の看板を掲げてから10年だそうです。日本も捨てたものではない、との思いを強くしました。

私たちJIYDも、学校教育へのライフスキル教育の導入に加えて、日本財団の「子ども第三の居場所」

事業への協力を通して、ライフスキル教育の手法を活かした活動の幅を広げています。今回の報告書には、ライオンズクエスト認定講師の柴咲子先生、寺西勉先生、寺本之人先生によるそれぞれの実践例と、佐賀県唐津市の居場所でのライフスキル教育を取り入れた実践例の報告が掲載されております。

子どもの自己肯定感を育む居場所における工夫、寺本先生の「学校は忙しい」を前提にしてライフスキル教育と既存の教育との一体化を進めた試み、寺西先生の、中学校で「理想的なクラス像」のイメージづくりをスタートに子どもたちに身につけさせたい力を出し合うよう導いた実践例、柴先生による「いじめ」をテーマにした研究授業まで、多くの気付きを得られる内容ではないかと思います。じっくりお読みいただければ幸いです。

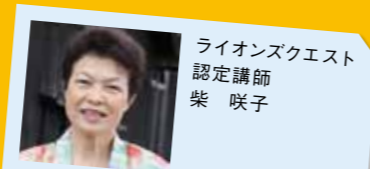
2022年6月 理事長 野村 彰男



実践事例

「いじめ」をテーマとした研究授業実施のために！

ワークショップで効果的な実践方法を探る〈その①〉



研究授業に、新しい風を！

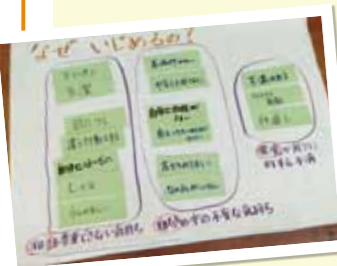
2021年夏に伺った小学校では、毎年2学期に「いじめ」をテーマとした研究授業を全校あげて実施しているものの、近年同じような授業が繰り返されていると感じられていたとのこと。以前ワークショップに参加された校長先生の提案で、ライオンズクエストを活用してみるようになったそうです。

実践編でやってみよう

そうなんです！ ライオンズクエストは全巻にわたって「いじめ」に関する授業がいくつも掲載されています。ですから、子どもたちの発達段階に合わせて活用できるのです。校内研修として開催された2日間のワークショップ。2日目(実践編)の目標は、「ライオンズクエストを活用した研究授業を決定し、それに向けた取り組みをする」です。

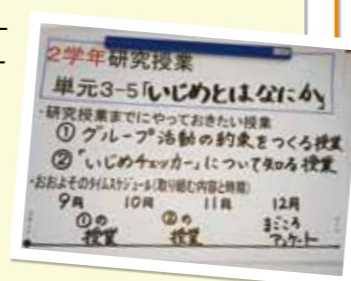
まずは共通理解を図る

実 践編のスタートは、グループ活動で「いじめとは何か？」を考えること。このとき意外だったのは、いじめる理由といじめられる理由にいくつか重なる点があったことです。そこから見えてきたのは、「いじめ」防止のためには、「いじめ」を扱う直接的な授業だけでは十分でないということでした。



何をやってみる？見える化しよう

次 は、学年ごとのグループになって、ライオンズクエストの教材から、「『いじめ』に直接関係する授業は？」「研究授業で実施する授業は？」「それ以外にやっておきたい授業は？」をピックアップ。それをスケジュール化して掲示物にまとめて、全体場で発表。これによって、各学年が研究授業までの見通しを持つことができました。



練習しておけば大丈夫

グ ループごとに、実施すると決めた授業をやってみました。先生方からは、「忙しかったけれど、みんなで模擬授業をやれたので、ひと安心」「他学年からも意見がもらえたので、より良い形で研究授業ができそう」という喜びの声が聞かれました。



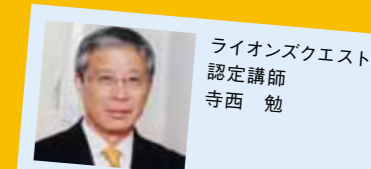
さまざまな課題に活用！

どの教育現場もさまざまな課題を抱えています。「道徳科の授業」「奉仕活動」「学級開き」「保護者対応」等々。これらのさまざまな課題に、ライオンズクエストが活用できると考えています。共に考え、共に一歩前に進んでいきましょう！

実践事例

前向きな価値に基づいた素敵な行動と賞賛

ワークショップで効果的な実践方法を探る〈その②〉



学校教育目標？めざす子ども像？

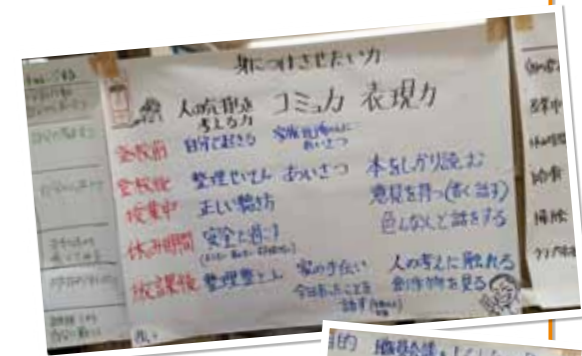
学校には『学校教育目標』に基づいて『めざす子ども像』などが決められています。学校はそれに基づき、日々の教育活動を行っています。しかし、それらの目標などは新学期には議論されるも、日々追われてしまい、徐々に薄れていってしまうのが現状ではないでしょうか。とりわけ、『めざす子ども像』は、「先生が決めたけれど、私たちはどうすればいいの？」という子どもたちの声も聞こえてきそうです。

子どもに身につけてほしい力

『めざす子ども像』は『子どもに身につけてほしい力』と言い換えることもできると思います。先生の願い、今や未来を生きる子どもたちへのメッセージでもあります。それを子どもたちに、具体的にわかりやすく、「こんな素敵な行動や言動、友だちとの関わりをすれば力が身につくんだよ」とメッセージを送ることが大切です。

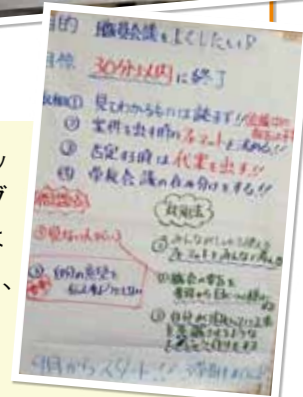
行動の原動力と確かな自信

子 どもたちにとっては「わかった！これならできる！」と思えることが行動の原動力となります。そして子どもたちの素敵な行動や言動には心を込めて賞賛する、ともにみんなで褒めたたえることが、子どもたちの確かな自信につながります。



素敵な行動マトリクス

写 真は、2021年夏に中学校で行ったワークショップの一場面です。ワークショップでは学校の課題に合わせた内容を行いました。素敵な行動マトリクスやランドデザインなどです。グループごとに『理想的なクラス像』のイメージ化からはじまり、そのようなクラスにするために子どもたちに身につけさせたい力を出し合い、ポスターにまとめる。その後、子どもたちがそれらの力を毎日の学校生活で得られるよう、「素敵な行動や言動・関わり」をマトリクス表にして考えました。



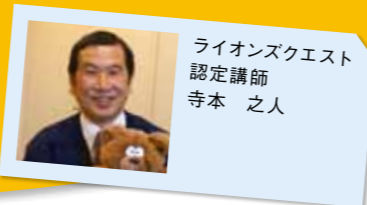
子どもたちもできる

参加者からは「わかりやすく子どもにも伝えやすい」「学級指導に活かしたい」「行動マトリクスはすぐにでも生徒に取り組みせたい」「目標を書くだけではなく、立てることで実現しやすくなる」という声が聞かれました。今回のワークショップでは先生方に考えてもらいましたが、子どもたちがこの『素敵な行動マトリクス』を作成してみることも、『目標を立てる、合意する、協力する』というスキル学習につながるのではないかと考えます。

実践事例

学校で活用されるライオンズクエストをめざして

ワークショップで効果的な実践方法を探る〈その③〉



ライオンズクエスト認定講師
寺本 之人

学校は忙しい

今日の学校では、限られた授業時間で多くの学習内容指導をしなくてはならないという大変さがあります。

ライオンズクエストの新しい可能性

従来 ライオンズクエストをできるだけそのまま学校の教育課程の中に位置づけたいと提案してきました。ところが、今日の学校事情では、なかなか実施する時間を捻出できません。しかし、それでも、効果的にプログラムを活用する方法を探っていこう!と考えています。

既存の教育活動との一体化

そこで、ライオンズクエストの一部を、教科、行事、部活動などの既存の教育活動と組み合わせることで、プログラムの導入と学校教育の充実が同時にできると考えています。ワークショップでプログラムの特徴を体験・理解された方なら、その実施方法でも十分にライオンズクエストの良さを引き出した実践ができると思います。

実際に体験してみる

「この様な使い方もあるのか」と感じていただけるのではないかと思います。2021年夏から、ワークショップ実践編で取り組んでいます。参加者はほぼ一日かけ、合唱祭やボランティア活動の指導計画を、ライオンズクエストを含む形で作成し、模擬授業まで行いました。

これならできる!

事後には、「これなら学校でも実践できそうだ。」という感想が寄せられました。今後も、改善を加えながら『教育活動とどう組み合わせられるか?』を考え、体験していただけるようにしていきます。現場に合った実践スタイルを提案し、活用できるライオンズクエストであってほしいと願っています。



身近な課題お待ちしています

ワークショップでの実施には、参加者のみなさんが日頃どんなことを考えているか、それが不可欠です。身近に感じている課題や充実させたい教育活動などを、どんどん出してください。きっとライオンズクエストが活用できます。

実践事例

居場所での継続的なスキル学習の実践

居場所の主体的な取り組みと、それを支えるサポートプログラム



2017年より、公益財団法人日本財団が全国各地に設立を進めている「子ども第三の居場所」へのライフスキル教育の導入に協力しています。

2018年以降、何度かお伺いしている佐賀県唐津市にある居場所に、2021年12月に久しぶりにお伺いしました。この居場所では、月1回のペースで子どもたちへのスキル学習を継続的に実施されています。この日は、午前中に講師とスタッフの皆さんと一緒にスキル学習の指導方法を練習、午後にはスタッフの皆さんが子どもたちへのスキル学習を実施、最後にふり返りをしました。スタッフの皆さんはいつもと同様に積極的かつ前向きに取り組んでおられました。この日の取り組みをご紹介します。

① 今回の目標を考える

話し合いで「集中して聞き、楽しいと思えるスキル学習」に決定

② 今日の研修内容を確認・練習

実施する楽しいゲーム、スキル学習を紹介し、実際にスタッフの皆さんが役割分担をして体験・練習。

③ 子どもたちに実施

練習をふまえ、スタッフの皆さんが子どもたちと一緒に楽しいゲームやスキル学習を実施。今回は参加児童数が多く(約40名)、2グループに分かれて実施しました。

④ ふり返り

スタッフの皆さん全員が今日をふり返り、感想を述べ合いました。

スタッフの感想

- ☑ 時間短縮が課題。
- ☑ まだ話が聞けない子どもが多数いて、時間がかかり、難しかった。今日の目標達成は今一つ。
- ☑ ゲームの実施の順番を変えたほうが集中できた。
- ☑ ゲームは学習の冒頭ではなく途中でやっても良いことを知った。目標はまあまあ達成できた。
- ☑ 普段より集中して楽しそうだった。切り替えが今一つなのでこれからの課題。
- ☑ 楽しんでやれた。ゲームで盛り上がり、スムーズにスキル学習には入れた。環境を整えることの大切さに気付いた。

講師の感想

スタッフの皆さんが主体的に、いつも一緒に過ごしている子どもたちのことを考え、試行錯誤しながら実施していると感じました。また、皆で取り組むプロセスによって、スタッフの皆さん同士がよりお互いを知り、チームワークができていくことを願っています。

こうした継続的なライフスキル教育の実践によって、子どもたちだけではなく、関わる大人も皆、ライフスキルが身についていくでしょう。多くの居場所でライフスキル教育が実践されるよう、今後も居場所ライフスキル教育導入サポートに取り組んでいきます。



いろいろな形で普及活動にチャレンジ!

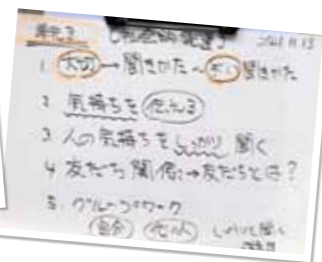
コロナ禍2年目。引き続き、ワークショップをはじめとする対面研修の開催に影響がありますが、できる形を模索しつつ、新しい取り組みにもチャレンジしました。

ワークショップの開催

学校の教員などを主な対象にライオンズクエストプログラムやライフスキル教育の考え方・指導方法を学ぶワークショップ(研修会)を、2021年度は全国各地で38回開催し、742名の参加者を得ました。2020年度(20回)から幾分回復しました。

[試行①] オンラインワークショップ

2021年11月、オンラインで基本編・実践編ワークショップをそれぞれ試行開催しました。オンラインだからこその人と人のつながり方や距離感、これからの時代に求められるライフスキルを考える機会となりました。



[試行②] 分割開催

一日8時間はなかなか時間がとれないけれど、というご要望にお答えして、基本編ワークショップ(1日)を1回約3時間の3回に分割して実施。次回までの間に復習したり実践してみたりできるので、体験したことの定着につながるメリットもありそうです。

オンラインセミナーのシリーズ開催

さまざまな教育的課題をライフスキル教育の観点から考えるオンラインセミナーを2021年11月に開始しました。教育現場や日常生活のいろいろな課題やニーズがライオンズクエストと関連していることをご紹介していきたいと思っています。2021年は「生徒指導」と「幼児教育」をテーマに実施。今後もおよそ月1回のペースで実施していきます。



広報資料・教材の発行

多くの人たちにライフスキル教育を紹介し、ご利用いただくべく、いろいろな角度から資料を作成し、発行しました。

▶『みんなのライフスキルタイムズ』

全国各地で行われている普及活動のホットな話題や関係者の声などを提供しています。



▶『Qちゃんのご案内するライフスキルとLionsQuestプログラム』

ライフスキルとは?ライオンズクエストが日々の生活とどうつながっているの?特徴やポイントは?ということをお伝えしたく、作成しました。

▶『ライフスキルで育てるひとりでも生きる力!みんなと生きる力』第3巻

見てわかる、誰でも使えるライフスキル学習資料集の第3巻を発行しました。フルカラーで、開いて読むだけでもたになる一冊です。



認定講師2名誕生

2021年に新しい認定講師が2名誕生しました。学校でライオンズクエストを導入・実践してきたお二人です。



貸借対照表 2021年12月31日現在

(単位:円)

科目	当期分	前期分	差異
Ⅰ資産の部			
【流動資産】			
現金・預金			
一般口	705,478	1,057,187	-351,709
立替資金口 ※1	15,480,083	25,714,746	-10,234,663
貯蔵品	2,266,905	4,218,541	-1,951,636
前払費用	258,515	261,959	-3,444
未収入金	3,575,098	808,757	2,766,341
流動資産合計	22,286,079	32,061,190	-9,775,111
【固定資産】			
什器備品	274,498	3	274,495
ソフトウェア	8,449,967	11,447,017	-2,997,050
敷金	300,000	300,000	-
ライフスキル教育普及事業積立預金 ※2	10,000,000	10,000,000	-
固定資産合計	19,024,465	21,747,020	-2,722,555
資産の部 合計	41,310,544	53,808,210	-12,497,666
Ⅱ負債の部			
【流動負債】			
未払金	907,670	780,040	127,630
前受助成金 ※3	5,890,000	6,860,000	-970,000
預り金	196,432	102,229	94,203
未払消費税	-	-	-
流動負債合計	6,994,102	7,742,269	-748,167
【固定負債】			
固定負債合計	-	-	-
負債の部合計	6,994,102	7,742,269	-748,167
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産額	46,065,941	62,581,643	-16,515,702
当期正味財産増減額	-11,749,499	-16,515,702	4,766,203
正味財産の部 合計	34,316,442	46,065,941	-11,749,499
負債及び正味財産の部 合計	41,310,544	53,808,210	-12,497,666

※1. ライフスキル事業の運転資金です。

※2. ライフスキル事業における中・長期積立金で、教材開発等の将来必要となる普及活動の基盤整備や長期にわたる活動維持を目的としています。

※3. 公益財団法人日本財団からの受取助成金のうちの未使用分です。

2021年度決算報告 ②

第20期(2021年度)活動計算書 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位:円)

科目	当期分	前期分	差異
Ⅰ経常収益			
【受取会費】			
正会員受取会費			
個人	215,000	280,000	-65,000
法人	-	50,000	-50,000
受取会費計	215,000	330,000	-115,000
【受取寄付金】			
使途指定寄付金	20,000	160,000	-140,000
一般寄付金	400,000	185,000	215,000
受取寄付金計	420,000	345,000	75,000
【受取助成金-ライフスキル教育普及事業】			
ライオンズクラブ国際財団 ※1	11,251,475	6,147,934	5,103,541
日本財団	3,220,000	5,622,000	-2,402,000
森村豊明会	-	1,500,000	-1,500,000
その他	3,891,756	1,974,185	1,917,571
受取助成金-ライフスキル教育普及事業計	18,363,231	15,244,119	3,119,112
【事業収益-ライフスキル教育普及事業】			
ワークショップ参加費収益	810,000	351,000	459,000
その他:体験会謝礼等	1,175,675	1,070,454	105,221
事業収益-ライフスキル教育普及事業計	1,985,675	1,421,454	564,221
【その他収益】			
受取利息	463	773	-310
雑収入			
ワークショップキャンセル料	3,000	-	3,000
書籍売上	468,150	585,940	-117,790
その他 ※2	3,569,019	4,081,471	-512,452
その他収益計	4,040,632	4,668,184	-627,552
経常収益計	25,024,538	22,008,757	3,015,781
Ⅱ経常費用			
【事業費】			
(1)人件費			
給料手当	9,687,800	10,323,333	-635,533
法定福利費	845,174	1,073,605	-228,431
通勤費	43,767	128,799	-85,032
人件費計	10,576,741	11,525,737	-948,996
(2)その他経費			
謝金	4,527,175	3,166,074	1,361,101
通信費	1,932,896	2,100,096	-167,200
荷造運賃	428,845	342,840	86,005
旅費交通費	2,564,369	2,370,928	193,441
消耗品費	128,014	143,728	-15,714
家賃	1,320,000	1,320,000	-
租税公課	-	800	-800
リース料	555,564	555,564	-
支払手数料	1,053,434	1,151,439	-98,005

科目	当期分	前期分	差異
印刷費	658,412	1,469,529	-811,117
減価償却費 ※3	3,549,280	2,736,495	812,785
ライセンス料	-	728,338	-728,338
外注費	782,694	2,917,522	-2,134,828
その他	165,826	223,046	-57,220
その他経費計	17,666,509	19,226,399	-1,559,890
事業費計	28,243,250	30,752,136	-2,508,886
【管理費】			
(1)人件費			
給料手当	3,510,000	3,491,222	18,778
法定福利費	1,120,353	1,160,715	-40,362
通勤費	48,849	82,277	-33,428
人件費計	4,679,202	4,734,214	-55,012
(2)その他経費			
支払報酬	242,274	220,000	22,274
通信費	212,708	233,471	-20,763
荷造運賃	30,114	52,194	-22,080
水道光熱費	88,429	107,125	-18,696
旅費交通費	2,962	101,414	-98,452
消耗品費	10,327	63,874	-53,547
会場費	-	36,600	-36,600
家賃	1,320,000	1,320,000	-
租税公課	1,130	528	602
リース料	555,564	555,564	-
支払手数料	85,432	67,280	18,152
印刷費	14,990	9,320	5,670
その他	227,878	270,739	-42,861
その他経費計	2,791,808	3,038,109	-246,301
管理費計	7,471,010	7,772,323	-301,313
経常費用計	35,714,260	38,524,459	-2,810,199
当期経常増減額	-10,689,722	-16,515,702	5,825,980
Ⅲ経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
Ⅳ経常外費用			
【公益活動外費用】			
貯蔵品除却損等 ※4	1,059,777	-	1,059,777
経常外費用計	1,059,777	-	1,059,777
当期正味財産増減額	-11,749,499	-16,515,702	4,766,203
前期繰越正味財産額	46,065,941	62,581,643	-16,515,702
次期繰越正味財産額	34,316,442	46,065,941	-11,749,499

※1. ライオンズクラブ国際財団のライオンズクエスト交付金事業に関する受取助成金です。
 ※2. 雇用調整助成金が含まれます。
 ※3. ワークショップ受講者向けポータルサイトの構築費(ソフトウェア)、電子版教材の制作費、教材サンプルなどに関わる減価償却費が含まれます。
 ※4. 旧版教材在庫の評価替え及び破棄が含まれます。

財務諸表に対する注記

①重要な会計方針 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法 — 棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。
2. 固定資産の減価償却の方法 — 有形固定資産は法人税法の規定に基づいて定率法により直接償却を行っています。
3. 消費税等の会計処理 — 消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

②事業費の内訳

ライフスキル教育事業には、ワークショップの開催、セミナー開催等の広報事業、教材開発・改訂事業、講師養成事業等が含まれます。

広報事業には、年報の発行、団体ホームページの運営・管理が含まれます。

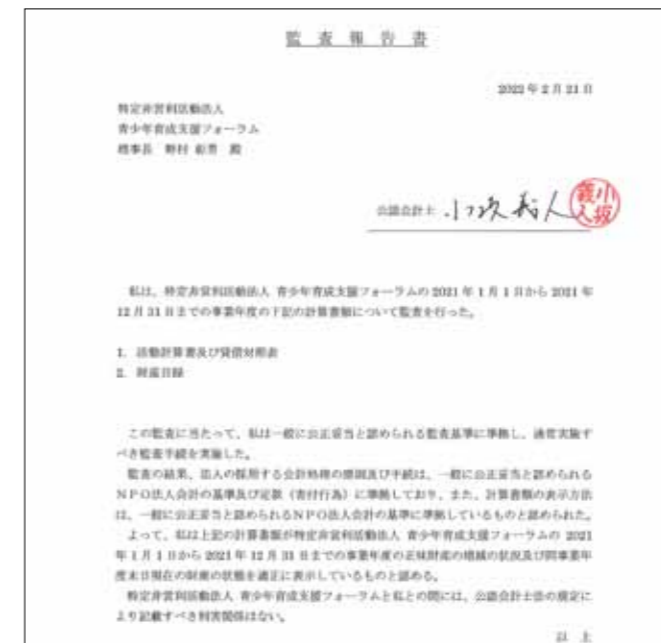
	ライフスキル教育事業	広報事業計	事業費計
(1)人件費			
給料手当	9,447,800	240,000	9,687,800
法定福利費	845,174	0	845,174
通勤費	43,767	0	43,767
人件費計	10,336,741	240,000	10,576,741
(2)その他経費			
謝金	4,527,175	0	4,527,175
通信費	1,932,896	9,306	1,932,896
荷造運賃	396,444	32,401	428,845
旅費交通費	2,564,369	0	2,564,369
消耗品費	128,014	0	128,014
家賃	1,320,000	0	1,320,000
リース料	555,564	0	555,564
支払手数料	1,051,784	1,650	1,053,434
印刷費	600,672	57,740	658,412
減価償却費	3,549,280	0	3,549,280
ライセンス料	0	0	0
外注費	616,794	165,900	782,694
その他	165,826	0	165,826
その他経費計	17,399,512	266,997	17,666,509
合計	27,736,253	506,997	28,243,250

③固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	増減	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	459,165	※ 1,646,970	2,106,135	1,831,637	274,498
ソフトウェア	15,000,640	3,240	15,003,880	6,553,913	8,449,967
敷金	300,000	0	300,000	0	300,000
ライフスキル教育普及事業積立預金	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000
合計	25,759,805	1,650,210	27,410,015	8,385,550	19,024,465

※2019年に取得したサンプル教材の表示科目を貯蔵品から什器備品へ訂正しました。

監査報告書



「継続」と「挑戦」

長年取り組んできたライフスキル教育普及活動の中心的活動である対面研修の開催などを「継続」しながら、ニーズに合った新しい取り組みに「挑戦」していきます。

ワークショップの開催

2年のコロナ禍を経て、いよいよ対面での研修も本格的に再開の兆し。コロナ禍を経て感じている課題などにも対応しながら、学校や地域の課題やニーズにあわせ、今求められるライフスキル教育について考え、体験する研修をお届けします。



▶さまざまな開催形式に挑戦

ワークショップのオンライン開催、分割開催など、主催者と相談しながら、ニーズにあわせた研修スタイルを試行・実施していきます。

リーダーシップ研修の開発



高校生から大学生を対象とした研修「かめのり未来をつくるリーダーシップ研修開発プロジェクト」(仮称)を、公益財団法人かめのり財団と連携して実施します。一人ひとりが、チームや組織の中でどのようにリーダーシップを発揮するかが重要な時代に、この研修では、そのために必要とされる『全員発揮型のリーダーシップ』について理解を深め、必要なスキルを身につけることを目指します。詳細は次のURLよりご覧ください。

<https://kafl.jp>

オンラインセミナー開催や瓦版の発行

普及活動の様子をお届けしたり、ライフスキル教育の奥深さやおもしろさをお伝えしたりするため、2022年度もオンラインセミナーを開催したり、瓦版「みんなのライフスキルタイムズ」を発行したりしていきます。

学校外でのライフスキル教育

学校外の子ども・青少年活動の場(放課後活動、居場所など)への普及活動を引き続き推進していきます。主に、公益財団法人日本財団が設置を進めている「子ども第三の居場所」へのライフスキル教育の導入サポートです。

▶新しい冊子の発行

学校外への普及活動の一環として、2つの資料を発行します。

①見てわかる、誰でも使えるライフスキル学習資料集『**ライフスキルで育てる ひとりで生きる力!みんなと生きる力!**』第4巻。今回は「不平不満は学びのエネルギー」をテーマに、子どもたちの参画を促す内容になっています。



②どうやって学校外でライフスキル教育を導入するの?という疑問を解決するための一冊『**ライフスキルで奏でる すてきな取り組みとみんなの笑顔**』。実際に導入した事例や導入までの流れ・サポートを紹介しています。



◎事務所移転しました

▶2022年2月、約20年過ごした品川を離れ、渋谷に事務所移転しました。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。なお、スタッフは主にリモートワークで業務に従事しております。ご来所の際は、事前にご連絡いただければ幸いです。

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-21-1 SHIBUYA SOLASTA3F
Tel 050-1742-4922 Fax 050-3385-9242

2021年度会員 (2021年12月末日現在)

○個人:46名

西園寺 裕夫 島田 佳宣 田川 薫 谷 和実 塚本 平二 成瀬 健生 西木 宣雄 松尾 信武 満島 章
百田 勝彦 山田 礼子

2021年度寄付者 (2021年1~12月)

○法人・団体

相模原南ライオンズクラブ

○個人:10名

※上記の会員・寄付者の個人名・法人名は掲載をご承諾頂いた方のみ掲載しています。(敬称略、五十音順)

理事会 (2022年4月1日現在)

理事長	野村 彰男	公益財団法人日本国際連合協会	理事
		公益財団法人人権教育啓発推進センター	評議員
理事	中雄 政幸	特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム	ファウンダー(前事務局長、L.)
	栗田 収司	元日本ビクター株式会社取締役	
	佐渡 涼子	ライオンズクエスト認定上級講師	
	北山 敏和	ライオンズクエスト認定講師	
		教育学/健康教育学講師	
	足達 靖彦	ライオンズクラブ国際協会335-C地区 名誉顧問・元地区ガバナー	
		学校法人明珠学園理事、京都翔英高等学校副校長	
	馬淵 英晃	特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム	事務局長兼務
		ライオンズクエスト	カンントリーディレクター
名誉理事	守隨 武雄	パナソニック株式会社	客員
	藤本 厚子	元幼稚園教諭	
監事	山本 和夫	東京ライオンズクラブ元会長	
		公認会計士	

(L.=ライオンズメンバー)
(就任時期順、五十音順)

ライオンズクエスト認定講師 (2021年4月1日現在)

岡松 佐知子 北山 敏和☆ 佐渡 涼子☆ 篠田 康人 柴 咲子 寺西 勉 寺本 之人 外川 澄子 中村 千恵子
原田 達明 横田 秀策

(*=認定上級講師、☆=青少年育成支援フォーラム理事 五十音順)

講師プロフィール等は、Lions Questライフスキル教育プログラムのホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
<https://lionsquest-japan.org>



皆様のご理解・ご支援をいただきながら、事業パートナーと協同して、「ライフスキル教育」の普及に取り組んでいます。

ライオンズクラブ国際協会 (LCI)

世界中に4万8千を超えるクラブ、140万人以上の会員を有する世界最大の奉仕団体で、200を超える国・地域でメンバーは地域奉仕に取り組んでいます。ライオンズクラブの活動分野は、視力関係、地域奉仕活動、環境、災害救援など、多岐にわたり、ライオンズクエストプログラムの普及を含む青少年育成はその一つです。

○JIYDは、LQ実施団体として、ライオンズクラブによる普及活動をサポートするとともに、協同して普及活動に取り組んでいます。



ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)

人類の奉仕に貢献することを目的に、LCIにより設立されました。2002年にライオンズクエストプログラムの著作権を取得し、同財団の青少年健全育成プログラムとして、世界各国のライオンズクラブによる普及活動を支援しています。

○JIYDは、2003年以降、LCIFより日本におけるライオンズクエスト実施団体として指定されています。



International Youth Foundation (IYF、国際青少年育成財団)

ライオンズクエストプログラムを開発したリック・リトルにより1990年に創設されました。青少年の置かれている状況と将来展望を改善すべく、世界各地の団体とパートナーシップ関係を結び、各地の青少年のニーズに合致した事業を見出し、広めています。

○JIYDは、1997年にIYFの日本事務局(IYF-Japan)として設置され、2002年にNPO法人化して以降、現在もGlobal Partner Networkのメンバーです。

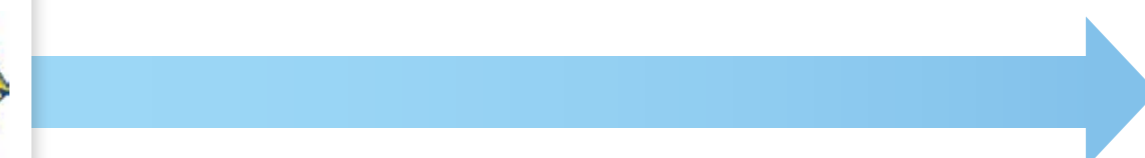
公益財団法人 日本財団

日本財団が全国へ設置を進める「子ども第三の居場所」へのライフスキル教育プログラムの導入に協力して取り組んでいます(2017年度以降)。またライフスキル教育普及活動の基盤整備の為、ワークショップ(研修会)講師の養成や電子版教材配信システム構築に対してご支援いただいています(2019年度以降)。



企業・団体・個人

JIYDの事務局運営や「ライフスキル教育」普及事業に対して、ご支援をいただいています。



ライフスキル教育普及事業 (ライオンズクエスト普及活動)

- ▶ 教師等実施者研修 (ワークショップ)
- ▶ 説明会・体験会開催等の広報
- ▶ 教材開発・改良
- ▶ 講師養成
- ▶ 評価
- ▶ 実施者間の交流



教育行政
学校
教員
青少年活動指導者

子ども
青少年

